

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公表番号】特表2002-532147(P2002-532147A)

【公表日】平成14年10月2日(2002.10.2)

【出願番号】特願2000-587719(P2000-587719)

【国際特許分類】

A 6 1 F	13/496	(2006.01)
A 6 1 F	5/44	(2006.01)
A 6 1 F	13/49	(2006.01)
A 6 1 F	13/56	(2006.01)

【F I】

A 4 1 B	13/02	V
A 6 1 F	5/44	H
A 4 1 B	13/02	H

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月23日(2006.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 縦軸線、前記縦軸線に平行に測定される全長寸法、横軸線、縦方向に間隔を空けて配置された第1及び第2のウェスト領域、前記第1及び第2のウェスト領域の間に延びてそれらを相互接続する股部領域、内面、及び、反対側の外面を形成する、ウェスト開口部と1対の脚開口部とを有するパンツ形態をもたらすようになっている吸収性物品であって、

吸収体アセンブリを含む吸収性シャーシと、

前記第1のウェスト領域において前記吸収体アセンブリから横方向外向きに延び、前記全長寸法の約20パーセント又はそれ以上の長さ寸法を持ち、前記ウェスト開口部から前記脚開口部のうちの1つまで延びて内側装着面を形成する不織基層を各々が含む、複数の装着パネルと、

前記内側装着面と再固定自在に係合するようになっている機械的固定要素を含み、前記外面上の前記第2のウェスト領域に配置される、少なくとも1つの固定用構成要素と、を含み、

前記機械的固定要素と前記内側装着面との前記再固定自在な係合は、前記吸収性物品を前記パンツ形態に維持し、

前記パンツ形態において前記第1及び第2のウェスト領域を固定自在に接続する唯一の手段は、前記第1ウェスト領域における前記内側装着面と、前記第2ウェスト領域における前記機械的結合要素と、からなる、

ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項2】 縦軸線、横軸線、縦方向に間隔を空けて配置された前部及び後部のウェスト領域、前記前部及び後部ウェスト領域の間に延びてそれらを相互接続する股部領域、内面、及び、反対側の外面を形成する、ウェスト開口部と1対の脚開口部とを有するパンツ形態をもたらすようになっている吸収性物品であって、

液体透過性身体側ライナ、前記身体側ライナに結合される液体不透過性外側カバー、及び、前記身体側ライナと前記外側カバーとの間に配置される吸収体アセンブリを含む吸収

性シャーシと、

前記後部ウェスト領域で前記吸收性シャーシと結合されて前記吸收性シャーシから横方向外向きに延びる、エラストマー不織材料から構成されて内側装着面を有する、第1及び第2の装着パネルと、

前記外面から外向きに突き出て前記装着パネルの前記内側装着面と再固定自在に係合するようになっている複数の係合要素を含む、前記外面上の前記前部ウェスト領域に配置される少なくとも1つの固定用構成要素と、

を含み、

前記装着パネルの前記少なくとも1つの固定用構成要素への前記再固定自在な係合は、前記吸收性物品を前記パンツ形態に維持し、

前記パンツ形態において前記第1及び第2のウェスト領域を固定自在に接続する唯一の手段は、前記後部ウェスト領域の前記弾性不織材料と前記前部ウェスト領域の前記複数の係合要素とからなる、

ことを特徴とする吸收性物品。

【請求項3】 縦軸線、横軸線、縦方向に間隔を空けて配置された前部及び後部のウェスト領域、前記前部及び後部ウェスト領域の間に延びてそれらを相互接続する股部領域、内面、及び、反対側の外面を形成する、ウェスト開口部と1対の脚開口部とを有するパンツ形態をもたらすようになっている吸收性物品であって、

液体透過性身体側ライナ、前記身体側ライナに結合される液体不透過性外側カバー、及び、前記身体側ライナと前記外側カバーとの間に配置される吸収体アセンブリを含む吸收性シャーシと、

前記後部ウェスト領域で前記吸收性シャーシから横方向外向きに延びる、エラストマー不織材料から構成されて内側装着面を有する、第1及び第2の装着パネルと、

前記外面から外向きに突き出て前記装着パネルの前記内側装着面と再固定自在に係合するようになっている複数の係合要素を含む、前記外面上の前記前部ウェスト領域に配置される少なくとも1つの固定用構成要素と、

を含み、

前記装着パネルの前記少なくとも1つの固定用構成要素への前記再固定自在な係合は、前記吸收性物品を前記パンツ形態に維持し、

前記パンツ形態において前記第1及び第2のウェスト領域を固定自在に接続する唯一の手段は、前記後部ウェスト領域の前記弾性不織材料と前記前部ウェスト領域の前記複数の係合要素とからなる、

ことを特徴とする吸收性物品。

【請求項4】 縦軸線、前記縦軸線に平行に測定される全長寸法、横軸線、縦方向に間隔を空けて配置された第1及び第2のウェスト領域、前記第1及び第2のウェスト領域の間に延びてそれらを相互接続する股部領域、内面、及び、反対側の外面を形成する、ウェスト開口部と1対の脚開口部とを有するパンツ形態をもたらすようになっている吸收性物品であって、

吸収体アセンブリを含む吸收性シャーシと、

前記第1のウェスト領域において前記吸収体アセンブリから横方向外向きに延び、前記全長寸法の約20パーセント又はそれ以上の長さ寸法を持ち、前記ウェスト開口部から前記脚開口部のうちの1つまで延びて内側装着面を形成する不織基層を各々が含む、複数の装着パネルと、

前記内側装着面と再固定自在に係合するようになっている機械的固定要素を含み、前記外面上の前記第2のウェスト領域に配置される、少なくとも1つの固定用構成要素と、を含み、

前記機械的固定要素と前記内側装着面との前記再固定自在な係合は、前記吸收性物品を前記パンツ形態に維持する、

ことを特徴とする吸收性物品。

【請求項5】 前記装着パネルは、エラストマー不織材料から成ることを特徴とする

請求項 4 に記載の吸収性物品。

【請求項 6】 前記第 1 及び第 2 のウェスト領域は、前記機械的固定要素と前記内側装着面との前記再固定自在な結合による以外は、再固定自在に結合可能ではないことを特徴とする請求項 4 に記載の吸収性物品。

【請求項 7】 前記外面上の前記第 2 ウエスト領域に配置される一対の結合成分を含んでおり、該結合成分は、フックタイプのファスナーからなり、該ファスナー成分は、前記長手方向軸線にほぼ平行な長さ寸法と、幅寸法と、約 5 から、それ以上の長さ対幅比を有するものであることを特徴とする請求項 4 に記載の吸収性物品。

【請求項 8】 縦軸線、横軸線、縦方向に間隔を空けて配置された前部及び後部のウェスト領域、前記前部及び後部ウェスト領域の間に延びてそれらを相互接続する股部領域、内面、及び、反対側の外面を形成する、ウェスト開口部と 1 対の脚開口部とを有するパンツ形態をもたらすようになっている吸収性物品であって、

液体透過性身体側ライナ、前記身体側ライナに結合される液体不透過性外側カバー、及び、前記身体側ライナと前記外側カバーとの間に配置される吸収体アセンブリを含む吸収性シャーシと、

前記後部ウェスト領域で前記吸収性シャーシと結合されて前記吸収性シャーシから横方向外向きに延びる、エラストマー不織材料から構成されて内側装着面を有する、第 1 及び第 2 の装着パネルと、

前記外側から外向きに突き出て前記装着パネルの前記内側装着面と再固定自在に係合するようになっている複数の係合要素を含む、前記外面上の前記前部ウェスト領域に配置される少なくとも 1 つの固定用構成要素と、

を含み、

前記装着パネルの前記少なくとも 1 つの固定用構成要素への前記再固定自在な係合は、前記吸収性物品を前記パンツ形態に維持する、

ことを特徴とする吸収性物品。

【請求項 9】 前記装着パネルは、エラストマー不織材料から成ることを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性物品。

【請求項 10】 前記前部及び後部ウェスト領域は、前記複数の係合要素と前記内側装着面との前記再固定自在な結合による以外は、再固定自在に結合可能ではないことを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性物品。

【請求項 11】 前記吸収性物品は、全長寸法を持ち、前記装着パネルは、前記全長寸法の約 20 パーセント又はそれ以上の長さ寸法を持つことを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性物品。

【請求項 12】 前記外面上の前記前部ウェスト領域に配置される、前記脚開口部のうちの 1 つに向かって配置される内側端部エッジと、前記ウェスト開口部に向かって配置される反対側の外側端部エッジと、前記縦軸線にほぼ平行な長さ寸法と、幅寸法と、約 5 又はそれ以上の長さ対幅比とを各々有する、1 対の固定用構成要素を更に含むことを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性物品。

【請求項 13】 前記吸収性シャーシから横外方向に延びており、前記前部ウェストパンツ領域において前記吸収性シャーシに結合され、前記第 1 及び第 2 係合要素が前記第 1 及び第 2 のサイドパネル上に配置されていることを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性物品。

【請求項 14】 縦軸線、横軸線、縦方向に間隔を空けて配置された前部及び後部のウェスト領域、前記前部及び後部ウェスト領域の間に延びてそれらを相互接続する股部領域、内面、及び、反対側の外面を形成する、ウェスト開口部と 1 対の脚開口部とを有するパンツ形態をもたらすようになっている吸収性物品であって、

液体透過性身体側ライナ、前記身体側ライナに結合される液体不透過性外側カバー、及び、前記身体側ライナと前記外側カバーとの間に配置される吸収体アセンブリを含む吸収性シャーシと、

前記後部ウェスト領域で前記吸収性シャーシから横方向外向きに延びる、エラストマー

不織材料から構成されて内側装着面を有する、第1及び第2の装着パネルと、

前記外面から外向きに突き出て前記装着パネルの前記内側装着面と再固定自在に係合するようになっている複数の係合要素を含む、前記外面上の前記前部ウェスト領域に配置される少なくとも1つの固定用構成要素と、

を含み、

前記装着パネルの前記少なくとも1つの固定用構成要素への前記再固定自在な係合は、前記吸收性物品を前記パンツ形態に維持する、

ことを特徴とする吸收性物品。

【請求項15】 前記装着パネルは、エラストマー不織材料から成ることを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項16】 前記前部及び後部ウェスト領域は、前記複数の係合要素と前記内側装着面との前記再固定自在な結合による以外は、再固定自在に結合可能ではないことを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項17】 前記吸收性物品は、全長寸法を持ち、前記装着パネルは、前記全長寸法の約20パーセント又はそれ以上の長さ寸法を持つことを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項18】 前記装着パネルの前記少なくとも1つの固定用構成要素への前記再固定自在な係合は、前記ウェスト開口部と各脚開口部との間の距離の約80から約98パーセントに及ぶ再固定自在シームを形成することを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項19】 前記第1及び第2の装着パネルは、1つの一元的なパネル部材の異なる部分を含むことを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項20】 エラストマー材料は、前記第1及び第2の装着パネルに効力的に接合されることを特徴とする請求項19に記載の吸收性物品。

【請求項21】 前記装着パネルは、内側上張り層、外側上張り層、及び、前記内側及び外側上張り層の間に配置される複数のエラストマー・セグメントを含むことを特徴とする請求項19に記載の吸收性物品。

【請求項22】 前記外面上の前記前部ウェスト領域に配置される、前記脚開口部のうちの1つに向かって配置される内側端部エッジと、前記ウェスト開口部に向かって配置される反対側の外側端部エッジと、前記縦軸線にほぼ平行な長さ寸法と、幅寸法と、約5又はそれ以上の長さ対幅比とを各々有する、1対の固定用構成要素を更に含むことを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項23】 前記前部ウェスト領域において前記吸収体アセンブリから横方向外向きに延びる第1及び第2のサイドパネル、及び、前記第1及び第2のサイドパネルに配置される第1及び第2の固定用構成要素を更に含むことを特徴とする請求項14に記載の吸收性物品。

【請求項24】 前記第1及び第2のサイドパネルは第1及び第2の遠い方の縁を形成し、前記第1及び第2の係合要素は前記第1及び第2の遠い方の縁の約1センチメートルの範囲内に配置されるものであることを特徴とする請求項13に記載の吸收性物品。

【請求項25】 前記第1及び第2のサイドパネルは第1及び第2の遠い方の縁を形成し、前記第1及び第2の係合要素は前記第1及び第2の遠い方の縁の約1センチメートルの範囲内に配置されるものであることを特徴とする請求項23に記載の吸收性物品。

【請求項26】 前記装着パネルの前記少なくとも1つの固定用構成要素への前記再固定自在な係合は、前記ウェスト開口部と各脚開口部との間の距離の約80から約100パーセントに及ぶ再固定自在シームを形成し、前記接着剤コーティングが前記係合要素を係合するように塗布されることを特徴とする請求項4に記載の吸收性物品。